

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2014 年第 47 週
(11/17~11/23)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター (岐阜県保健環境研究所)

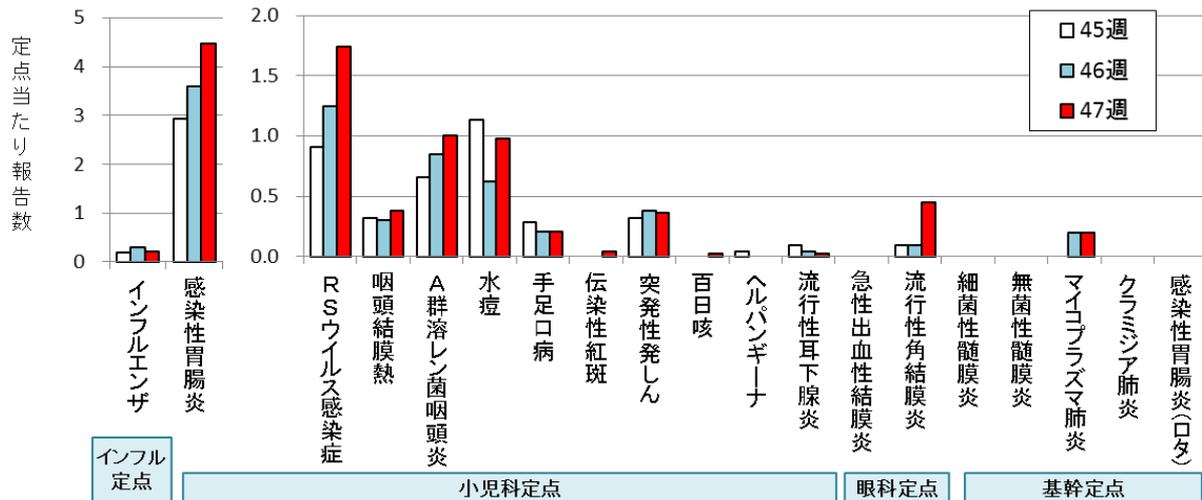
- ◇ 感染性胃腸炎が緩やかに増加しています。→トピックス
- ◇ RSウイルス感染症は高いレベルで推移しています。
- ◇ 水痘が恵那保健所管内で再び増加しています。
- ◇ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が岐阜地区を中心に増加傾向です。
- ◇ 12月1日は「世界エイズデー」です。→トピックス

■ 定点把握対象疾患 (インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所)

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所 (定点当たり報告数)
警報レベル	なし	—
注意報レベル	水痘	恵那保健所 (4.50)

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 8 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 2 例

● 2014 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	406 例	
3 類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症 36 例
	E 型肝炎	3 例	デング熱 6 例
4 類感染症	A 型肝炎	1 例	マラリア 1 例
	チクングニア熱	1 例	レジオネラ症 18 例
	つつが虫病	6 例	
	アメーバ赤痢	13 例	水痘 (入院例) 3 例
5 類感染症	急性脳炎	1 例	梅毒 10 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	破傷風 1 例
	後天性免疫不全症候群	20 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	ジアルジア症	1 例	風しん 2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	麻しん 3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

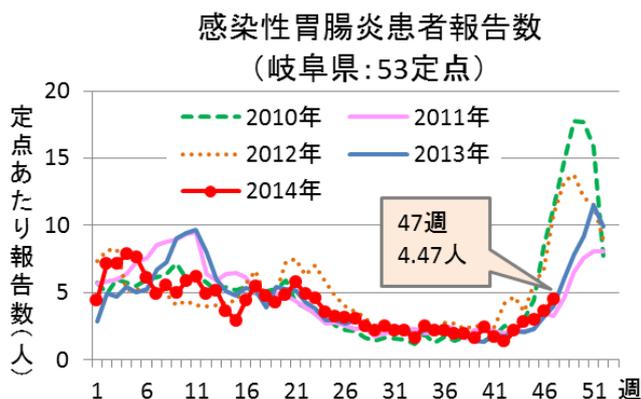
■トピックス

《感染性胃腸炎》

◆ ノロウイルスに注意が必要な季節です

県内 53 の小児科定点医療機関からの感染性胃腸炎患者の報告数は、緩やかに増加しています。

12月 はノロウイルスが最も流行する時期です。本格的な流行に備え、予防対策が必要です。



～ノロウイルス感染予防のポイント～

- ★ 手洗いの徹底 ……トイレの後、調理前、食事前、汚物処理後などには、石けんと流水でしっかり手を洗い、手についたウイルスを落とす。最も重要な予防方法です！
- ★ 汚物の処理は適切に ……患者の嘔吐物や便を処理する場合は、使い捨てのマスクや手袋を使用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取った後、塩素系消毒薬で消毒。
- ★ 調理器具などの消毒は次亜塩素酸ナトリウムまたは熱湯で
……調理器具、患者の便や嘔吐物で汚染された衣類・タオルなどは、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒薬）または 85℃・1 分間以上の加熱により消毒。消毒用エタノール（アルコール）は、ノロウイルスにはあまり効果がないといわれています。

★ 感染症法における取扱い

感染性胃腸炎は、感染症法において 5 類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約 3,100 か所（岐阜県 53 か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。届出基準・届出様式はこちら。
<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouou-kijun.html>（保健医療課 HP）

《後天性免疫不全症候群（エイズ）》

◆ 12月1日は「世界エイズデー」です

世界エイズデー（World AIDS Day：12月1日）は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国、全国各地でエイズに関する啓発活動が行われています。

- ★ 関連リンク <http://api-net.jfap.or.jp/event/HivInsWeek/special2014/WorldAidsDay2014.html>
(エイズ予防情報ネット)



今年のテーマ：AIDS IS NOT OVER ～まだ終わっていない～

国内における2013年1年間の新規HIV感染者報告数は1,106人（過去2位）、感染に気づかずにエイズを発症して報告された新規エイズ患者報告数は484人（過去最多）、合計で1,590人（過去最多）と予断を許さない状況となっています。

県内では、2013年には16人（HIV感染者7人、エイズ患者9人）、2014年は第47週までに20人（HIV感染者9人、エイズ患者11人）の新規患者が報告されています。

治療法の進歩により、現在では HIV 感染者が長く生きていくことが期待できるようになりました。正しい知識の普及により HIV の感染予防を啓発するとともに、広く HIV 検査の普及を図り、HIV 感染の早期発見と早期治療によりエイズ発症者を減少させることが重要となっています。

★ 県内の保健所では、無料・匿名による HIV 検査を行っています。検査に関する情報を含め、エイズに関する情報はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/sonota/aids.html>

(保健医療課 HP)

★ 後天性免疫不全症候群（エイズ）とは

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の感染により、免疫機能が低下した結果、感染症などの病気を発症した状態をエイズ（AIDS、後天性免疫不全症候群）といいます。「HIV 感染＝エイズ」ではなく、HIV に感染した後、自覚症状のない状態が平均 8～10 年続き、徐々に免疫力が低下して様々な病気を発症し、エイズの状態になります。

★ 感染症法における取扱い

後天性免疫不全症候群は、感染症法において 5 類感染症全数把握対象疾患に定められており、患者を診断した医師は保健所に届け出なければなりません。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouhou-kijun.html> (保健医療課 HP)

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>